

▼コロナ禍の三九郎

昨年に続き、コロナ禍の収束がみられないため、三九郎はお焚き上げ方式となりました。「青山様・ほんぼん」と共に子どもの伝統行事として長年引き継がれてきました。わが町会は、夏の風物詩である青山様をコロナ対策の上、実施。子ども達の大きな掛け声が町会中に響き渡り、魅了されました。

他町会では大きな櫓を立て、火の粉を上げて激しく燃え、子ども達や見物人が歓声をあげて見守ったと聞きました。是非、来年は無病息災が叶う三九郎で、コロナ禍を一掃し、皆が笑顔いっぱいとなるひと時になればと思います。

子ども行事を大人も担い、地域の結びつきをつないでいきたいものです。(児嶋正武)



コロナ発生により各小学校PTA支部が伝統行事である三九郎という新年の大事な催しが出来ずに参りました。しかし本年は完全とはならないものの、町会が何とか応援しつつ三九郎を挙行できました。しかし、「お焚き上げ方式」だったり、本来通りとは程遠く伝統行事が子どもたちに継承していけるか、松南地区のみならず、各地区各町会が試されていると思います。地区の役員、大人がしっかりとこのから踏ん張っていかないと、繋いでいく体制が出来ません。「青山様・ほんぼん」も含め、課題が多い伝統行事の実態です。(百瀬壽)



●燃え盛る!双葉西・南



●宮田西、点火!



●完成!双葉町



●松集め 復活

新しい民生委員・児童委員の皆さんです

任期:令和4年12月1日~令和7年11月30日

氏名	担当
児島 正子	南松本1丁目
古林 幸子	南松本2丁目
岩上 友重	芳野町
百瀬 尚子	
村田みはる	双葉町
藤森富士雄	
中山 昭	双葉南
逸見 美樹	双葉西
原 由美	宮田中
野内 文子	
上條千恵美	宮田東
川上 磊象	宮田西
神澤 稔子	主任児童委員
遠藤千恵子	
伊藤 教子	

敬称略

信明中学校 親子綱引き

地域や団体には、続いていく大切な伝統行事があります。信明中学校でも開校二年目の昭和六十一年から続いてきた親子綱引き大会があります。コロナ禍で令和二年度は時期を遅らせての開催、令和三年度は止むを得ず中止となりましたが、令和四年度は元通りの開催となりました。

開催当日は、本当に楽しそうに多くの笑顔が見られたとのこと、改めて伝統行事の大切さを感じさせられるお話でした。

綱引きの裏方を務めた「親父の会」も忘れられませんが、子どもを支える絆を編んでいたのです。たかが綱引き、されど綱引きなのです。(近藤晴彦)



絶やしてならぬ!親子綱引き大会

なんなんニューイヤーコンサート

1月28日(土)に行われた本コンサートには、途中入退場される方の入れ替わりも含め延べ約80人が来場され、5つの出演団体による、ウクレレ、フラダンス、コーラス、ハンドベルの多彩な内容の演奏を楽しまれました。

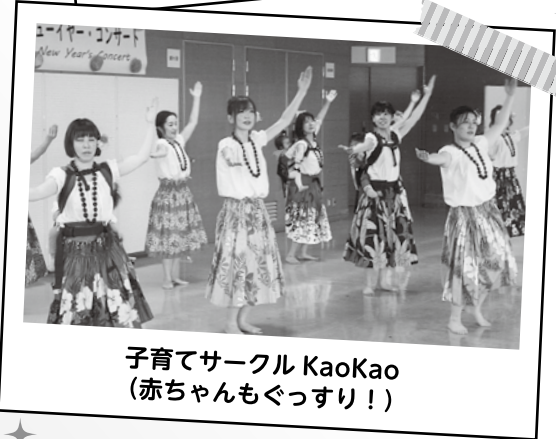
このコンサートを企画した背景には、コロナ禍で中止となった2つの催しがありました。昨年中止した松南地区ニューイヤーコンサート(町内公民館長会主催)と、今年中止したなんなんフェスタの上演部門(公民館利用者の会など主催)です。この2つの催し、2つの団体のコラボにより、密度の濃い2時間30分のコンサートが実現しました。

来場者、出演団体、主催団体の総勢約160人の皆さんが、それぞれのコロナ禍を振り返るとともに、コロナ後の新たな時代の兆しを感じられる、「ニューイヤー」の文字に相応しい催しとなりました。

(伊藤 貴浩)



レジェンド!すみれ会
(マスクなしの生コーラス)



子育てサークル KaoKao
(赤ちゃんもぐっすり!)



ふれあい健康教室
健康体操で盛り上がる!



軽スポーツの集い
ダーツに初挑戦!



軽スポーツの集い
囲碁ボールに集中

地区の催し

コラム松南

毎年冬になると諏訪湖の御神渡りが出来るかどうかニューースになる。諏訪生まれの私にとって御神渡りはできてほしいと毎年思っている。時には七十cmほどの高さになる年もあり、遊んだ思い出もある。そんな御神渡りも温暖化の影響なのか、出来ない年の方が多くなってきているのは寂しい。一月の寒波が来た時は、今年こそと期待したが、風が吹き湖面が波立ち、結局出来なかった。来年こそはと期待したい。◆それと冬の諏訪湖で忘れられないのが、湖面に穴をあけてのワカサギ釣り、早朝からワカサギを釣っては、その日の夕飯に唐揚げや天ぷらにして食べたこともあった。最近ドーム船に乗ってのワカサギ釣りが流行っているが、やはり凍った諏訪湖での穴釣りが私は好き。と言っても何十年とワカサギ釣りはやっていないが、テレビで見ると釣りたいなる。来年は、ドーム船で釣ってみたい。

(藤森 俊男)

